

競技規定目次

■ 主な変更点

- ◎フィールド&ポイント設定の変更
- ◎失格・終了の条件変更
- ◎10カウントルールでの減点廃止
- ◎スローしたディスクが場外に出た場合の競技終了の廃止

※詳細・その他の規定につきましては本書を良くお読みください。

■ A.W.I.Japan 競技規定 全種目共通事項 …… 2 ～ 3ページ

- ・競技に使用できるディスクについて
- ・同一種目に複数エントリーする場合の条件について
- ・競技中失格になる行為について
- ・競技の中断・再開が考慮されるケースについて

OPEN Distance & FUN Distance 競技規定

■ 競技規定 …… 4 ～ 7ページ

- ・基本ルール
- ・OPEN Distance フィールドレイアウト ポイント設定
- ・FUN Distance フィールドレイアウト ポイント設定
- ・ポイント確定条件
- ・ポイントとして認められないケース
- ・合計ポイントが同ポイントだった場合
- ・FUN Distance のみのルール
- ・フィールド図

A.W.I.Japan 競技規定 全種目共通事項

※USルールを基本としておりますが、一部日本仕様となっております。

競技に使用できるディスクについて

- ・HERO DISC ファストバックタイプ オールサイズ可
- ・Wham-O FRISBEE ファストバックタイプ
- ・Discovering The World ファストバックタイプ
- ・Hyper Flite Flying Disc ファストバックタイプ
- ・NDA J-Disc ファストバックタイプ ※オープン&ファンディスタンスのみ使用可能です

同一の種目に複数エントリーする場合の条件について

- ・プレイヤーは犬が異なっていれば2チーム以上でも参加することができます。

競技中失格になる行為について

- ・スポーツマンシップに反する行為
- ・フィールド内にディスク以外の物を持ち込んだ場合。(おやつ、リード、ボール、おもちゃ等)
但しトライアルはリードの使用を認める。(制御不能の場合のみリードに触れても良い)
- ・計測スタート後にキャップ・リストバンド・タオル等を故意的にではなくても使用したとジャッジが判断した場合はその時点で失格となる。
- ・申告せずにメス犬が発情期を迎えている場合
- ・犬に危険な行為を求めた場合
- ・競技中犬がフェンス(ネット)の外へ出てしまった場合、ジャッジの判断によりプレーの続行が不可能と判断し失格とする事がある。
- ・競技中に糞尿行為があった場合は、その段階で失格となる。糞尿行為とは、出た・出ないではなく、行為に入った段階とする。
- ・狂犬病・伝染病の予防接種を受けていない犬の参加は認められない。
- ・過度に犬が攻撃的な場合
- ・プレイヤーが犬に暴力を加える行為
- ・参加する全てのプレイヤーは、競技前に行われるプレイヤーズミーティングに参加しなければならない。但し、交通状況等の理由で事前連絡を受けたチームは、その対象にならない
- ・入退場の際、選手又は犬が故意にフェンス又はフラッグをまたいだ場合

競技の中断・再開が考慮されるケースについて

- ・計測スタート後にフィールド上で起こる全ての不慮の妨害や中断があった場合、審査を中止し、そのチームの競技再開は競技委員によって判断されます。

【再開にあたり競技者の判断が優先される事項】

- 1、競技者は、そのラウンドの最初からやり直しを行う。
- 2、他の競技者の最後に順番を変更し、犬を休ませてから、そのラウンドを最初から行う。

いずれかの選択の上、競技が再開される。

※競技の再開に関しては、競技者に対し誰かが意図的に(ラウンドをやり直す機会を作るため等)起こされた中断ではないとみなされた場合に限られます

OPEN Distance & FUN Distance 競技規定

- ◆制限時間60秒 2ラウンド制
- ◆使用可能ディスク A.W.I.Japan 競技規定に準ずる
- ◆使用可能枚数 1枚 ※競技中のディスク交換はみとめておりません。
- ◆競技規定詳細
 - ・制限時間内は、何投でもスローを行う事が可能です。
 - ・競技スタート前は、犬とプレイヤーはスローイングエリア内にいなくてはなりません。
 - ・MCのカウントに合わせて競技がスタートします。
「5秒前・・・3・2・1スタート」のコールが入ります。
 - ・スタートコール前にスローを行った場合、そのスローは無効となり2投目より有効となります。
 - ・スローを行う際は、スローイングラインの後ろにいなくてはなりません、それ以外はフィールド内を自由に移動する事は可能です。また、犬・ディスクに触れる事も可能です。
 - ・スローした際、足がラインより著しく出ている場合、フットフォルトとなり無効スローとなります。
 - ・犬は常にスローイングエリアからスタートする際はコーンの間を通過していなければなりません。
コーンの間を通過しない状態でキャッチした場合、そのキャッチは無効となります。
 - ・残り時間のカウントダウンは、「30秒経過」「15秒前」「10秒前」「5・4・3・2・1・タイムアップ」のコールがMCによっておこなわれます。タイムアップコール中のスローについては有効になります。

OPEN Distance フィールドレイアウト ポイント設定

※スロー方向については、大会主催者が定めた一方向のみとなります。

※フィールドレイアウトについては図を参照ください。

◆ポイントゾーン

ポイント設定は以下の様になります。

・9.1m ~ 18.2m	ランニングキャッチ	1point	ジャンピングキャッチ	2point
・18.2m ~ 27.3m	ランニングキャッチ	3point	ジャンピングキャッチ	4point
・27.3m ~ 36.4m	ランニングキャッチ	5point	ジャンピングキャッチ	6point
・36.4m ~ 45.5m	ランニングキャッチ	7point	ジャンピングキャッチ	8point
・45.5m ~ 60.0m	ランニングキャッチ	9point	ジャンピングキャッチ	10point

- ・キャッチの際、犬の足がラインをまたいでいる場合は、低い方のポイントが加算されます。
- ・ボーナスポイントエリア 9point : 犬の後ろ脚が 36.4m のラインを越えたうえで、着地した際のいずれかの足がボーナスゾーンの半円の中にある事が条件になります。

FUN Distance フィールドレイアウト ポイント設定

◆ポイントゾーン

ポイント設定は以下の様になります。

- ・9.1m ～ 18.2m リトリーブ 1point キヤッチ 2point
- ・18.2m ～ 27.3m リトリーブ 3point キヤッチ 4point
- ・27.3m ～ 36.4m リトリーブ 5point キヤッチ 6point
- ・36.4m ～ 45.5m リトリーブ 7point キヤッチ 8point
- ・45.5m ～ 60.0m リトリーブ 9point キヤッチ 10point

- ・キャッチの際、犬の足がラインをまたいでいる場合は、低い方のポイントが加算されます。
- ・リトリーブの場合、犬の口に最初にディスクが触れたエリアのポイントが加算されます。
- ・ボーナスポイントエリア 9point : 犬の後ろ脚が 36.4m のラインを越えたうえで、着地した際のいずれかの足がボーナスゾーンの半円の中にある事が条件になります。

ポイント確定条件

スローされたディスクを犬が空中でキャッチし、ポイントエリアに着地した時点でポイント確定とする。着地の際、しっかり犬の口中にディスクがあることが条件として含まれます。
※着地直後、ディスクが犬の口中よりこぼれ落ちた場合は無効とします。

ポイントとして認められないケース

- ・犬がディスクをキャッチ出来なかった場合
- ・犬がディスクをキャッチする前に地面またはネット等にディスクが接触した後にディスクをキャッチした場合
- ・プレイヤーがスローイングする際、フットフォルトをしていた場合
- ・ポイントエリア外でのキャッチの場合
※犬がディスクをキャッチした際、サイドラインをいずれかの足が1本でも出ていた場合

合計ポイントが同ポイントだった場合

- ・最終ラウンドのポイントが高い方が上位とします。
- ・最終ラウンドのポイントも同ポイントの場合、最終ラウンド中の最高ポイントの高い方が上位とします。

FUN Distance のみのルール

ポイント確定条件は、キャッチした場合は前述の条件を満たしている場合。

リトリーブの場合は判断するのはOポイントゾーン(スローイングラインから9.1mラインの間)までディスクを持ち帰ることが条件となります。それ以前にプレイヤーが、犬またはディスクに触れた場合はそのスローに関しては無効となります。

ロングリードは使用可能です。ただし、逃走防止用としての使用以外は控えてください。

